



©橋本直己

Profile

やまのあずみ
山野安珠美 こと じゅうなげん
箏・十七絃

沢井忠夫、沢井一恵の両氏に師事。

NHK邦楽技能者育成会第44期修了。文化庁新進芸術家国内研修員として研鑽を積み、平成19年度山口県芸術文化振興奨励賞、平成28年度エネルギー音楽賞など受賞。

これまでに約40カ国で公演。ドイツ「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭」をはじめとする欧米各地での音楽祭出演、文化庁・国際交流基金による海外派遣公演、ワシントンD.C.「全米桜祭り」、ボストン・レッドソックス本拠地フェンウェイパークでの演奏など幅広く活動。さらに、モン・サン・ミッシェル、アンコールワットなど世界遺産での公演や、現地ミュージシャンとの共演、ワークショップにも積極的に取り組む。

国内では、ソロリサイタルをはじめ、オーケストラやジャンルを超えた演奏家との共演、歴史的建造物や地域文化施設での公演など、多様な空間と表現を横断しながら活動。伝統に培われ

た確かな技術と豊かな音楽性を礎に、箏の新たな表現領域を切り拓き、力強さと繊細さを併せ持つ鮮やかな音世界は高い評価を受けている。また作曲・編曲活動により、箏の可能性を広げる多彩な作品制作を行う。

並行して、学校公演やアウトリーチ活動にも力を注ぎ、全国各地で子どもたちへ邦楽の魅力を届けている。単に音楽を鑑賞するだけでなく、箏を介して音楽の面白さや「自分だけの好き」を発見する体験を重視し、個々の感性を尊重した参加型プログラムを展開。文化庁×東京音楽大学によるアートマネジメント人材育成事業では講師も務めるなど、後進の育成や邦楽文化の普及にも尽力している。

NHK「SONGS」「にほんごであそぼ」「美の壺」、テレビ朝日「題名のない音楽会」「ミュージックステーション」、フジテレビ「MUSIC FAIR」などテレビ・ラジオ出演多数。新作歌舞伎、フラメンコ、現代舞台作品への参加やCD録音などの音楽制作にも多く携わり、石井竜也氏、大黒摩季氏、柴咲コウ氏、ゆずをはじめとする多彩なアーティストとの共演を重ねるなど、伝統楽器としての枠を超えた音楽活動を続けている。

現在、沢井箏曲院師範。AUN Jクラシックオーケストラ、箏カルテット螺鈿隊メンバー。（一財）地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。



CD

山野安珠美
箏「澗 -mio-」

レーベル：Heart Tree
全8曲

AZUMI YAMANO



©橋本直己

所属事務所



株式会社プレリューディオ（昭和音楽大学・昭和音楽大学同倫会出資法人） [担当] 森 恭子
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 昭和音楽大学北校舎内
Tel 044-953-2105 Mail mori@preludio.co.jp HP <https://preludio.co.jp>

調絃マジック

- * すきなところへ^{ことじ}琴柱を置けば、世界に一つのオリジナル調絃完成！
- * しょんぼり〈チューリップ〉も、少し絃を押すだけで、途端に明るく咲き誇る
- * 指一本、まっすぐひっぱって〈かえるの歌〉、
- * 〈さくら〉は誰もがすぐに弾けます。
- * 二回トントンで〈きらきら星〉 箏ならではの方法で、ますます豪華に！



地域推し活

旅は満喫、食べるのが大好きなわたしは、訪問先での“調査”が楽しみの一つ。それが音楽に繋がったらと、地域ならではの企画、オリジナル作品など、共につくる、を目指します。箏を通じて、人とまちとの交わりが、より豊かなものになるなら、これほど嬉しいことはありません。



箏って、自由。

奏法ソクソク

爪を使って‘弾く’だけでなく、掬ったり擦ったり裏側を使ったり…箏特有の音色や響きは、江戸時代から伝わり、現代でも新鮮で、聴く人々を魅了します。新たな奏法も生まれ続け、時にはスプーンやグラス、たわしも使って！音との冒険は永遠です。ワークショップでは、子どもたちの「自分の好きな音」「おもしろい音」「誰も聴いたことないかもしれない音」を共に探し、即興や作曲にも挑戦。



天と地と

楽器の裏には音穴が二つ。大地に向かって音を鳴らせば、地底に響き渡ります。アウトリーチでは、実際に楽器の裏を触ったり、寝転がって、音を「聴く」だけでなく、「さわる」「感じる」を体験。また弾いた瞬間だけでなく、空間へと溶けていく余韻も、唯一無二の箏の魅力。ホールで味わう響きと、間近で体感する響き。箏ならではの二つの世界を、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

だから無限。13本。



箏の音楽は、奏者と聴き手、それぞれのワクワクが積み重なって紡がれてきた歴史だと感じています。

形は変わっても、その根っこは変わらない。
そんな箏が運んでくれた出会いは、私の宝物です。
世界を旅しながら実感するのは、音楽が年齢や性別、国籍を超えて
人と人をつなぐコミュニケーションツールだということ。

いまを生きる伝統楽器の姿、新たに生まれる音楽、
そして未来へ続くこの瞬間を皆さまと共有しながら、
新しい1ページを、ともに創っていきたいと思っています。

カメレオン

箏は、共演する楽器やジャンルによって、聴こえ方や印象が様々に変化します。

○これまでの共演（邦楽器以外）

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、オーケストラ、ピアノ、マリンバ、クロマティックハーモニカ、スチールパン、歌、民族楽器
コンテンポラリーダンス、フラメンコ、書、華道、映像、等

○演奏作品

邦楽現代作品、古典、クラシック、即興、ポップス、オリジナル、校歌、民族音楽等

